

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

三沢厚彦

Art Lab 12 Misawa Atsuhiko

三沢厚彦
Misawa Atsuhiko

八木良太
Yagi Lyota

大山エンリョイサム
Oyama Enrico Isamu

The Connection
志村信裕
Shimura Nobuhiro

中野仁詞
Nakano Hitoshi

Creating the Void

Filling the Void

2023. 7.14fri-10.15sun

休館日: 8月7日(月)、9月4日(月)、10月2日(月)
開館時間: 10:00-18:00(金・土曜日は20:00まで)

主催: 千葉市美術館 協力: 西村画廊、コネクションズ
会場: 千葉市美術館4階 子どもアトリエ

観覧料: 無料

※会期中、会場内メンテナンス作業を予定しています。作業日・時間帯については美術館ホームページでお知らせいたします。



三沢厚彦 《Cat 2010-05》 2010 年 ©Misawa Atsuhiko Courtesy of Nishimura Gallery Photo by Oshima Takuya



三沢厚彦 《Cat 2022-01》 2022 年 ©Misawa Atsuhiko Courtesy of Nishimura Gallery Photo by Misawa Atsuhiko



「つくりかけラボ」は、「五感でたのしみ」「素材にふれる」「コミュニケーションがはじまる」いずれかのテーマに沿った公開制作やワークショップを通して空間を作り上げていく、参加・体験型のアーティストプロジェクトです。いつでも誰でも、空間が変化し続けるクリエイティブな「つくりかけ」を楽しみ、アートに関わることができる表現の場です。

今回のつくりかけラボは、彫刻家の三沢厚彦さんをお迎えし、三沢さんがともに活動するアーティスト、キュレーターらと、千葉の街から着想を得たプロジェクトを展開します。

千葉市美術館は、科学館や神社をはじめ、文化施設が多くあるエリアにあります。「空洞をうめる」というテーマは、全国各地で展覧会を行ってきた三沢さんが、都市に共通する問題として感じた、文化や経済といったさまざまな「空洞化」への関心から始まりました。プロジェクトでは、三沢さんたちが来場者とともに、「空洞をうめる」作品を作っていきます。はたして「空洞」は「埋められる」のでしょうか、それとも「生まれる」のでしょうか？ 美術館を起点に、街と作家、来場者がコネクしていき空間をお楽しみください。

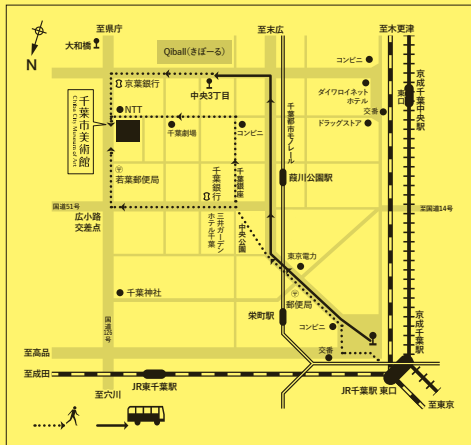
※作家滞在スケジュールやイベント、ワークショップなどの詳細はホームページをご覧ください。



大山エンリコイサム《FFIGURATI #404》2022年, Artwork ©Enrico Isamu Oyama Studio, Photo ©GION



八木良太《Voice of Landscape (SZ)》2023年 ©Yagi Lyota



オープンワークショップ

会期中いつでも、木端や粘土^{こっば}を使って動物やその他のかたちを自由につくるワークショップに参加できます。三沢さんのつくる彫刻から生まれた樟^{クスノキ}の端材などの素材から、すきなものをつくってみましょう。できあがった作品は三沢さんの作品の一部になるかも？

三沢厚彦

1961年京都府生まれ。幼少期から京都や奈良の仏像に親しむ中で、彫刻の魅力に惹かれ、彫刻家を志す。高校、大学と彫刻科で学び、東京藝術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻を修了。小学生の頃からポピュラーミュージックにも親しみ、音楽に対する造詣も深い。2000年に動物の姿を等身大で彫った木彫「ANIMALS」シリーズの制作を開始。同年より西村画廊（東京）で個展開催。2007年から「三沢厚彦 ANIMALS+」展が平塚市美術館を皮切りに全国5会場を巡回。その後も現在まで各地の美術館で個展を多数開催。主な受賞歴に2001年第20回平櫛田中賞受賞。2005年第15回タカシマヤ美術賞受賞。2019年第41回中原悌二郎賞受賞。現在、神奈川県在住。武蔵野美術大学造形学部彫刻学科特任教授。

交通案内

- JR千葉駅東口から ●徒歩約15分 ●京成バス（バスのりばA）から大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分 ●千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川（よしかわ）公園駅」下車徒歩約5分
- 京成千葉中央駅東口から ●徒歩約10分
- 東京方面から車では ●京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く
- 地下に機械式駐車場があります（車高155cmまで）。
- シェアサイクルスポットがあります。

※館内に新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。
※内容やイベントが変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。



コネクションズ

三沢厚彦／大山エンリコイサム／志村信裕／中野仁詞／八木良太

彫刻家の三沢厚彦を中心に、表現方法の異なるアーティストが交差＝関係し合うことから、新たな表現を生み出していく。2022年に小田原三の丸ホール（神奈川）で開催された「コネクションズーさまざまな交差展一」に参加した三沢、志村信裕（映像）、中野仁詞（キュレーター）、八木良太（インスタレーション）に加え、大山エンリコイサム（ヴィジュアルアート）を招き、「空洞をうめる」をテーマに千葉市美術館で数々のプロジェクトを展開する。



志村信裕《赤い靴》2009年 ©Shimura Nobuhiro
Photo by Ohiwa Kumi

同時開催

「三沢厚彦
ANIMALS／Multi-dimensions」

2023年6月10日（土）～9月10日（日）

休室日 | 6月12日（月）、19日（月）、26日（月）、7月3日（月）、10日（月）、18日（火）、8月7日（月）、21日（月）、9月4日（月）
（第1月曜日は全館休館）

開館時間 | 10:00～18:00（金、土曜日は20:00まで）

※入場受付は閉館の30分前まで

観覧料 | 一般1,200円（960円）、大学生700円（560円）、小・中学生、高校生無料

会場 | 8・7階 企画展示室ほか

主催 | 千葉市美術館

協力 | 西村画廊、アニマルハウス、山口製材株式会社

次回予告

「つくりかけラボ13

黒田菜月 | 鳥の名前を届ける（仮称）」

2023年10月28日（土）～2024年1月28日（日）

